

難病の雇用管理のための調査・研究会（第1回）議事概要

1 日時

平成16年6月1日(火)14:00~16:00

2 場所

高齢・障害者雇用支援機構15階会議室

3 出席者

(委員) (五十音順)

伊藤たてお、梅澤 隆、木村 格、坂尻 正次、坂本 秀夫、白木 三秀、秦 政、春名由一郎

(厚生労働省)

谷中 善典 障害者雇用対策課長

山地いずみ 障害者雇用対策課主任障害者雇用専門官

平川 雅浩 障害者雇用対策課課長補佐

小嶋 文浩 障害者雇用対策課障害者雇用専門官

4 議事概要

【議題1「開催要綱」について】

(1) 開催趣旨等について

- 厚生労働省障害者雇用対策課から開催趣旨について次のとおり説明。

1. 難病は病気の種類・態様が多様であり、これに伴う職業生活の制限、困難も種々様々であることから、現状においては、事業主に対して雇用管理上のノウハウを十分に提供していただけるだけの情報の収集、蓄積、整理等がなされていない。

2. 障害者雇用対策基本方針において、難病等、慢性疾患を含めた障害疾患等について、多様な職業生活上の制限や困難とこれに対応した雇用管理上の配慮、条件整備のあり方等について情報の収集、蓄積等に努めることとされており、本調査・研究会はその方針の下に設置。

3. 調査票を用いた実態調査、難病当事者団体及び事業主からのヒアリング調査を行い、最終的には雇用管理マニュアルを作成する考え。

- 本調査研究会の名称に用いられている「雇用管理」という用語に関する意見

1. 本調査研究の趣旨は難病者の職業的自立をどう支援していくかということである。名称においても難病者が主体となるべきであり、「管理」という言葉はいかがか。

2. 難病者が働きやすくするための工夫や環境条件の整備を行うことまで含めて「マネジメント=管理」であり、本調査研究の趣旨に合致。

- その他本調査研究会のあり方に関する意見等

1. 「難病」と一言で言っても幅広く様々な病気があり、一括りでは整理できない。全部を網羅するのは困難だが、様々な患者が期待をしているので、何を中心に研究し、議論されたかをアピールしていくことが必要。

2. この研究会は「雇用」、「雇用管理」という言葉よりも実際には「就労」、「就労支援」という言葉の方がしっくりくる。「就労支援」という観点で本研究会に参加していきたい。

3. この研究会で目指していくのは難病患者の生きがいや能力をどう社会的に活用していくかということに到達するのではないか。

4. 「難治性疾患克服研究事業」の対象疾患は希少性が条件のひとつとなっているが、この研究会では、5万人未満という枠にとらわれず、困難を抱えている難病患者をどう支援していくかという広い視点から検討をお願いしたい。

5. 雇用労働者が圧倒的に多い現状からすれば、一人でも多くの方が就労できるような雇用環境整備、雇用の場における職域づくりといったものがどこまで進められるかということが重要。

6. それぞれ能力、体力に応じた場所が用意できるか、それが雇用なのか、あるいは福祉なのか、あるいはそれらの中間なのかという、いくつかの選択肢を整備していくことが必要。

(2) 議事運営等について

- 1. 委員推薦により白木委員を座長として選出。

2. 議事の公開について

- ・当事者からの関心も高くホームページ等において議事を公開してほしい。
- ・結論に至るまでは色々な回り道をしたりすることもあり、途中経過をすべからず公開することはかえって間違った印象を当事者に与えてしまう可能性があるのではないかと懸念。
- ・オープンにしないということではないが、プライバシーの問題などが出てくる場合もあると思うので、事務局と相談して整理。

【議題2「難病者」について】

- 障害者雇用対策課から、資料2に基づき、厚生労働省における難病対策として、1. 保健医療面、2. 雇用面からの各施策の概要について説明。
- 木村委員から、別資料に基づき、疾患別の病因、診断基準、根治治療方法の成果等説明。

【議題3 障害者の雇用に関する先行調査研究の概要】

- 春名委員から、資料に基づき、先行研究の概要等について説明。
- 質疑応答
 1. 福祉的就労の中には小規模作業所も含まれるのか。
→ (回答) 働く場を提供するという事で含まれている。
 2. 病名によって医師から就労を止められている例とあったが、具体的状況は。
→ (回答) クロウン病のような外見的には障害はないが、ストレスになるので医師から止められるようなケース。
- その他発言
 - ・難病の患者は、病気を治すということがまず念頭にあるので、どうしても就労支援の問題に到達しにくい傾向がある。当時から協力してくれる患者会と協力してくれない患者会にはっきり分かれていた。

【議題4 その他（「実施計画案」等について）】

- 障害者雇用対策課から資料4に基づき、3カ年の実施計画案について説明。
- 意見交換
 - ・地域差による環境の違いがかなりあるように感じるが、本調査研究ではその問題は加味される予定はあるか。
→ 調査票をどういった所に配るかという想定は必要。
→ 設問の中に地域に関する事項を入れておけば分析はできる。
→ ガイドラインを作ることが基本的な目的であるならば、こうすべきであるという共通事項はあるのではないか。